奈良市の取組

【別添様式２】

1. てまえどりの普及啓発

※“てまえどり” とは、すぐに食べる食品を買うとき、商品棚の手前から商品を取っていくことで食品の廃棄を減らすお買い物の仕方のこと

●レールポップ・ポスターの作成

てまえどりを啓発するポップやポスターを作成し、市内の一部コンビニ・スーパーで展開。

＜協力事業者　26事業者（令和5年10月時点）＞

●てまえどりPR動画の作成

てまえどりをテーマとした食品ロス削減啓発動画を作成し、
市公式YouTube、市役所庁内広告モニターにおいて放映を実施。

●食品ロス削減キャラバンの実施

奈良市の職員が市内の小学校等で、食品ロス削減についての
出前講座を実施。＜7校＋1公民館（令和5年10月時点）＞

●てまえどり啓発音源の作成

奈良市内の小学校児童の声による啓発音源を作成し、市内のスーパーで
定期的に放送を実施。＜協力事業者　5事業者（令和5年10月時点）＞

レールポップ

啓発動画

EVホール

ポスター

＜奈良市HP＞https://www.city.nara.lg.jp/site/gomi-syusyu/91689.html

2. フードバンク事業

●フードバンクセンターの開設

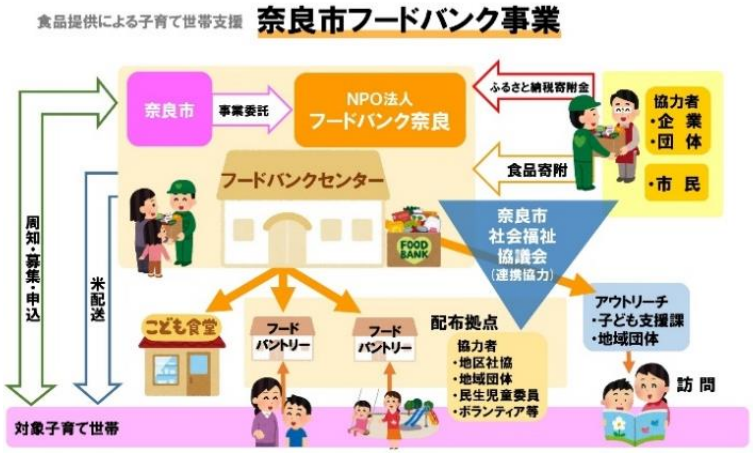
余っている食品の受け取り・保管・仕分け作業ができる物流倉庫
令和2年12月より余剰食品の受付を開始

＜目的＞
(1)ひとり親世帯などの生活困窮家庭に対する食の支援
(2)余剰食品を市民や事業者から受け入れて食品ロスを削減

➡ 生活困窮世帯の支援と食品ロス削減の2つの側面を持つ。
特にコロナ禍において需要が大きくなっている現状がある。

＜受入実績＞
・フードドライブ（計6回）401件：5，994kg（令和2年12月～令和4年7月）
・フードバンクセンターへの直接寄付：29，064kg（令和2年1月～令和4年9月）

＜配布実績＞
・フードパントリーのべ4，147世帯：28，034kg（令和2年12月～令和4年7月）



＜奈良市HP＞https://www.city.nara.lg.jp/site/kosodate/91219.html